

今こそ声  
あげよう

# 原発からの撤退、 自然エネルギーの普及を！

6月19日(日)羽村駅前で、共産党羽村市議団と青年後援会は「原発からの撤退を  
求める署名活動」にとりくみました。「こういう活動は大賛成。ぜひ頑張って」などの声  
が寄せられました。とりくんだ鈴木たくや市議は「とても反応が大きいと感じました。力  
合わせて、原発に頼らない新しい社会を作っていきます。」と呼びかけています。



「頑張るよ」と署名に協力いただく  
(左) 署名を呼びかける倉田まなぶ  
市議(上) 鈴木たくや市議(下)。



### 羽村駅前で寄せられた声

- ・「こういう活動は大賛成。もっと代替エネルギーの可能性を伝えるべき。」
- ・「子どもには原発なしの社会を手渡したい。」



6月19日 若者の集まりに参加。「放射能が心配」と九州へ引越してしまった話を聞く。きめ細かい測定と情報公開の必要性を感じる。市議会での私の質問どおりに、市はも市内全域での測定を打ち出す。(倉田)

6月20日 山崎議員と昭島市の区画整理課へ。「50年近くやっていて、まだまだです」の話に街づくりの大変さ痛感する。市職員が主体になっての事業など参考になる。(鈴木)

羽村民報 2011年6月26日 発行 羽村民報編集委員会  
No.1017 責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市委員会は、以上の報道をおこないました。 電話 579-2132

署名にご協力ください  
しんぶん赤旗集金者、党員、議員へお渡しください。  
また、ご連絡いただければ取りに伺います。  
(鈴木 〇八〇・二〇五八・九四五〇 倉田 〇八〇・三四六〇・〇六四まで)

取りとり

## 原発からの撤退を求める署名

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に事実をもって明らかにしました。

現在の原発の技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものです。原発は、ばく大な放射性物質(死の灰)をかかえています。それをどんな事態がおきても閉じ込めておく完全な技術は存在しません。そして、ひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたっても影響を及ぼします。

そうした原発を、世界有数の地震・津波国であるわが国に、集中的に建設することは危険きわまりないことです。日本に立地している原発で、大地震・津波にみまわれる可能性がないと断言できるものは一つもありません。歴代政府が、「安全神話」にしがみつき、繰り返しの警告を無視して安全対策をとらなかったことが、どんなに深刻な結果をもたらすかも明瞭となりました。以上をふまえて、私たちは、原発からの撤退を要求します。

### 【請願項目】

一、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくることを求めます。

氏 名	住 所

< 取り扱い団体 > 日本共産党羽村市議会議員団

次回の無料法律相談は 7月 26日(火)午後1時半からです。電話でお申し込みください。鈴木 080-1058-9450・倉田 080-3460-0064